

43: 343-357. Puri, V., 1952 Placentation in Angiosperms. Bot. Rev. 18: 603-651.
Saunders, E. R., 1937 Floral Morphology. Vol. I. Cambridge.

* * * * *

アマ科植物の 4 種類について、花部形態を述べる。

アフリカ産 *Ochthocosmus africanus* とインドネシア産 *Ixonanthes icosandra* とは合がくである。交互ふく瓦状のがく片には 3 本の葉跡が入り、花弁では 1 本である。*Ixonanthes icosandra* では花弁に対生する雄ずいの維管束に分生現象が見られる。中軸胎座がインドネシア産 *Roucheria griffithiana* とブラジル産 *Hebepetalum humirifolium* に見られ、*Ochthocosmus* と *Ixonanthes* では側膜胎座である。

Ochthocosmus と *Ixonanthes* とは花の解剖学的性質が他のアマ科植物とは異っている。従来成果及び本報告を考え合わせると、Hutchinson がしたように両属を *Ixonanthaceae* として別科に扱って良いだろう。

○ホトトギスの一形 (久内清孝) Kiyotaka HISAUCHI: A form of *Tricyrtis hirta* Hooker



Tricyrtis hirta Hook. f. *atro-purpurea* Hisauchi. $\times 1.2$.

千葉県、船橋市、三山(ミヤマ)といえ、公式行政区域の名であるが、一般には習志野として知られているところの一角に、二宮神社という社があり、その裏山は林地である。ここに写真のようなホトトギスの一形が自生している。花がい片、花糸、柱頭に、黒紫色の斑点が顕著である。これを移植しても、その形質は多年にわたり変らないから、安定していると思われるので、おとなげないが、マグラホトトギスの新称を提唱することにした。紫斑点というのは興林会編、標準色鑑の 20 号に近い色彩である。なお産地は団地化しつ

つあるから遠からず消失するであろう。

(東邦大学薬学部)

Tricyrtis hirta Hooker forma *atro-purpurea* Hisauchi form. nov.

Perianthium, filamentum et stigma *atro-purpureo-maculata*.

Hab. Miyama, Funabashi, Chiba pref. (Typus in Herb. Univ. Tokyo.)